

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における塩草立葉小学校の結果分析と今後の取組みについて

大阪市立塩草立葉小学校長 竹内 幸延

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成29年4月から7月末までの期間、5年生を対象に「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくために、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただければと思います。

1. 調査の目的(全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋)

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ります。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立します。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てます。

2. 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校5年生、特別支援学校小学部5年生の原則として全児童。
- ・塩草立葉小学校では、5年生47名(男子25名、女子22名)。

3. 調査内容(児童に対する調査)

ア、実技に関する調査(以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様)

小学校調査では、以下の種目を実施します。

[8種目]

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ、質問紙調査

運動習慣、生活習慣等の質問紙調査(以下、「児童質問紙調査」)を実施します。

4. 調査結果

次ページ以下をご覧ください。

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立塩草立葉小学校

児童数

47
(男子25、女子22)

平均値

種目別平均(黄色は全国平均と大阪市平均をともに上回った種目。水色は大阪市平均のみを上回った種目)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.96	21.56	30.84	42.96	56.20	9.25	160.00	23.88	56.20
大阪市	16.49	19.23	32.34	39.54	49.98	9.37	149.36	22.61	52.79
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
女子	13.77	19.32	35.82	39.73	47.55	9.59	149.77	11.18	54.95
大阪市	16.18	18.20	37.06	37.88	39.64	9.60	143.32	14.07	54.58
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72

結果の概要

全種目の体力合計点を大阪市の平均と比べると、男子は3.41ポイント上回り、女子は0.37ポイント上回っている。全国平均と比べると、男子は2.04ポイント上回り、女子は0.77ポイント下回っている。8種目の平均では、男子は「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の7種目、女子は「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」の4種目が、全国平均と大阪市平均をともに上回っている。また、女子は「反復横跳び」が大阪市平均を上回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校の子どもたちは、体育の学習や運動遊びを好んで行っており、休み時間には多くの子どもが運動場で楽しく遊んでいる。体育学習では、運動量の確保を第一に考えて取り組み、なわとびカードやマラソンカードなどを活用した体力づくりも、年間を通して組織的、計画的に実施している。また、放課後遊びの時間を確保したり、集団遊びに親しませたりしている。

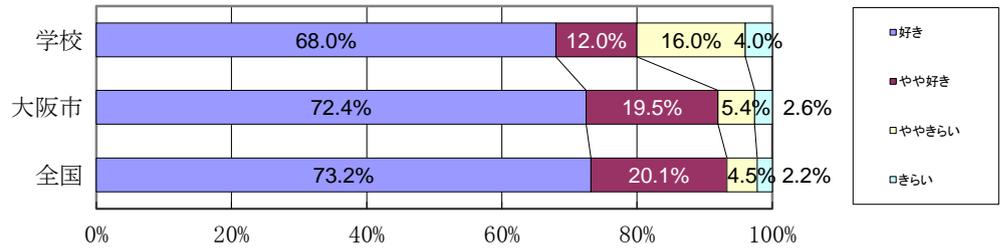
今年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から、男子は7種目、女子は4種目について、大阪市および全国の平均を上回った。これまでの体育学習および体力づくりの成果があらわれたと考える。今回の結果が子どもたちの励みになり、運動に親しむ意欲がさらに高まるよう、指導していきたい。

体力づくりは、学力と同様、学校だけでできるものではなく、家庭・地域と連携しながら、子どもたちが運動に親しむ機会を増やしていく必要がある。また、平成30年度に新校舎増築工事が計画されるなかで、子どもたちの運動量が十分確保されるよう、工夫していきたい。

運動やスポーツについて

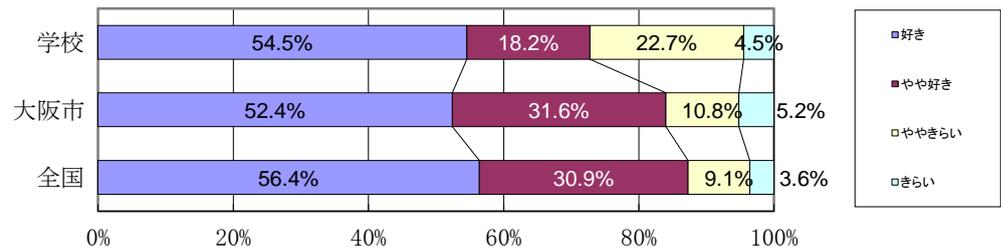
男子

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



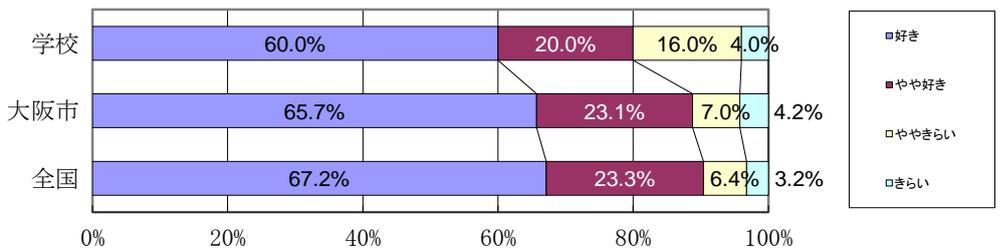
女子

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



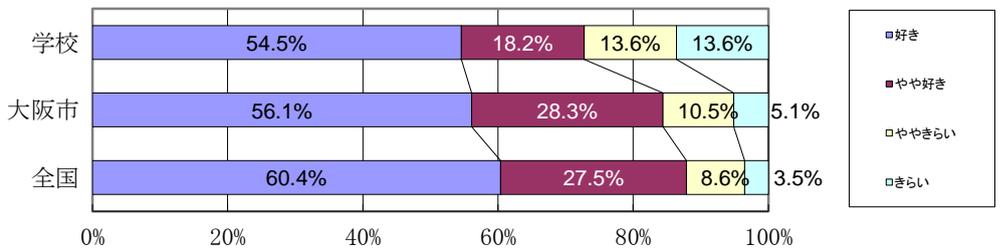
男子

小学校入学前は体を動かす遊びが好きでしたか。



女子

小学校入学前は体を動かす遊びが好きでしたか。



成果と課題

「運動やスポーツをすることは好き(やや好き)」の肯定的な割合は、男子では全体の80%、女子では73%である。ただ、「ややきらい」の回答は、男子で16%、女子で23%にのぼり、いわゆる「運動ぎらい」の子どもへの支援が必要である。また、「小学校入学前は体を動かす遊びが好きでしたか」の回答結果も同様の傾向がみられ、就学前の遊びや運動経験が大切であるといえる。

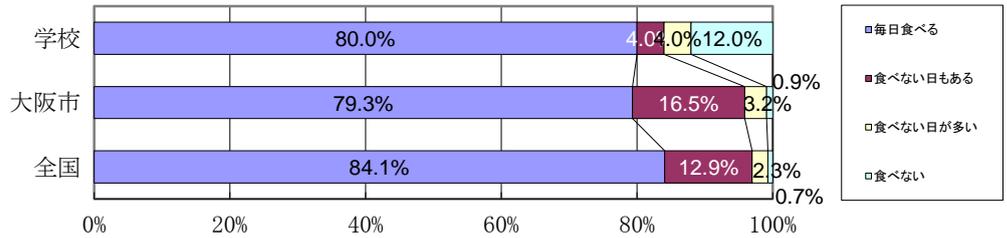
今後の取組

今後も、体育学習や体力づくりなどを中心に、教育活動全体で運動や遊びに親しむ機会を増やしていく。また、小学校入学前の運動や遊びの大切さについて、家庭や地域と連携するとともに、近隣の幼稚園、保育所(園)にも呼びかけていく。

ふだんの生活について

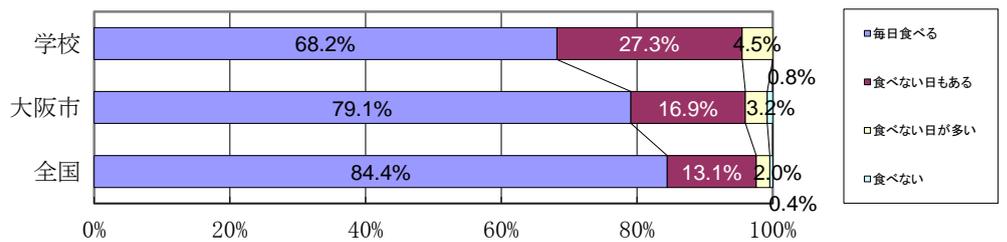
男子

朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日もふくめます)



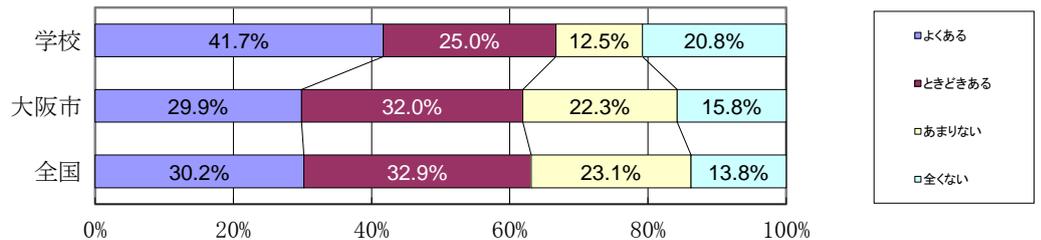
女子

朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日もふくめます)



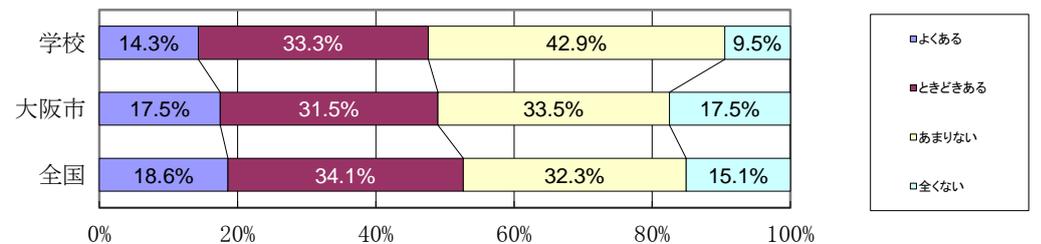
男子

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられますか



女子

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられますか



成果と課題

朝食を毎日食べる割合は、男子が80%で大阪市平均をやや上回っているが、「食べない」の割合も12%で非常に高い。女子は、朝食を毎日食べる割合が68%で、大阪市平均を大きく下回っている。男子の「家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられる」割合は、男子が大阪市と全国平均を上回っているが、「全くない」割合も同様に上回っている。子どもたちの健康づくり、体力づくりのため、家庭の協力が大切である。

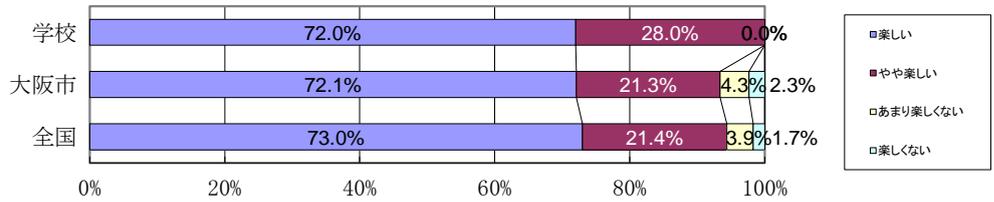
今後の取組

朝食について、特に男子で「毎日食べる」「食べない」の回答率が二極化している。女子の「毎日食べる」割合も、低い。今後、食の大切さについて家庭に向けて啓発をすすめていくとともに、さまざまな事情が背景にあることも考えられ、区の子育て支援や地域、関係諸機関とも連携して、支援していきたい。

体育の授業について

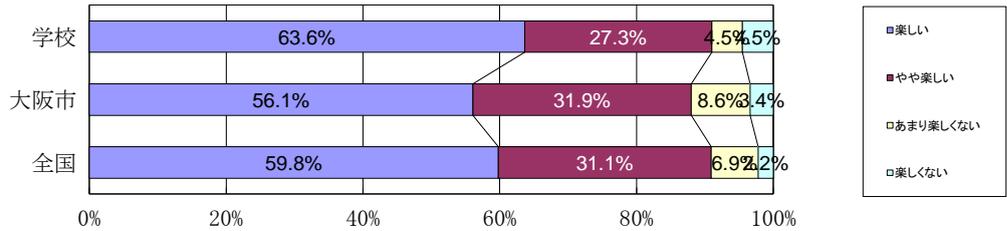
男子

体育の授業は楽しいですか



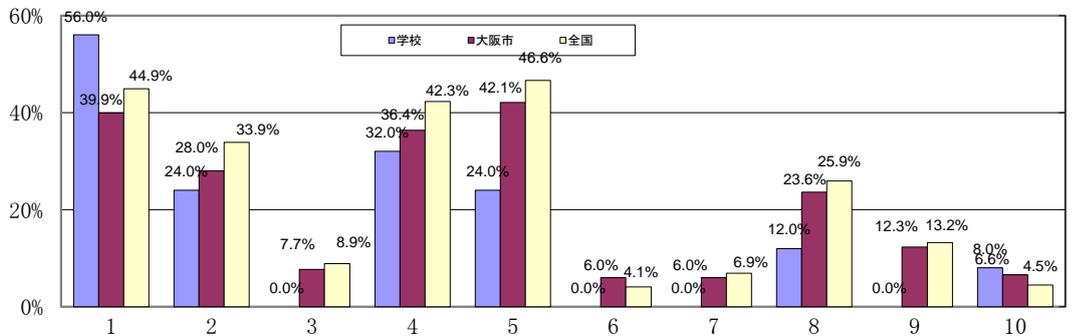
女子

体育の授業は楽しいですか



男子

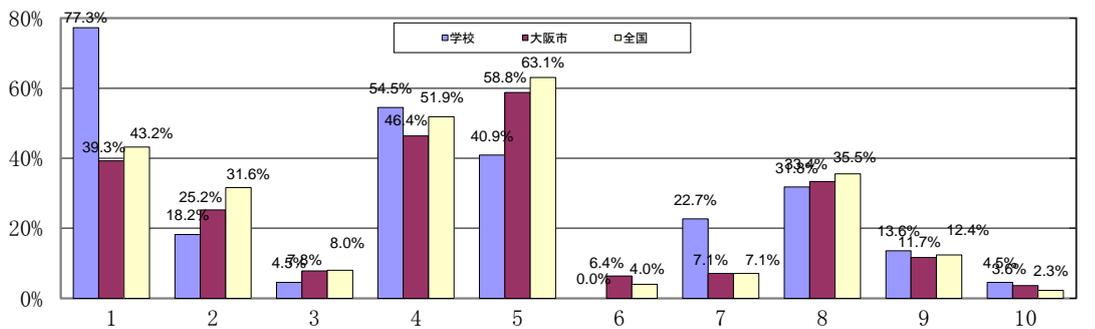
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった 2 授業中自分で工夫した 3 自分に合った場やルールが用意された
 4 先生や友達のみねをしてみた 5 友達に教えてもらった 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
 7 授業外で先生に教えてもらった 8 授業外で自分で練習した 9 授業外で自分で本やビデオを見た 10 できるようになったことがなかった

女子

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった 2 授業中自分で工夫した 3 自分に合った場やルールが用意された
 4 先生や友達のみねをしてみた 5 友達に教えてもらった 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
 7 授業外で先生に教えてもらった 8 授業外で自分で練習した 9 授業外で自分で本やビデオを見た 10 できるようになったことがなかった

成果と課題

「体育の授業は楽しい(やや楽しい)」と回答する割合は、男子が100%。女子も90%と非常に高く、体育の学習が肯定的に受けとめられている。「これまでの体育の授業で『できなかったことができるようになった』きっかけ、理由」については、男女ともに「授業中、先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」が最も高く、大阪市および全国平均をとともに上回っている。体育学習中の教師の声かけや助言が大切である。

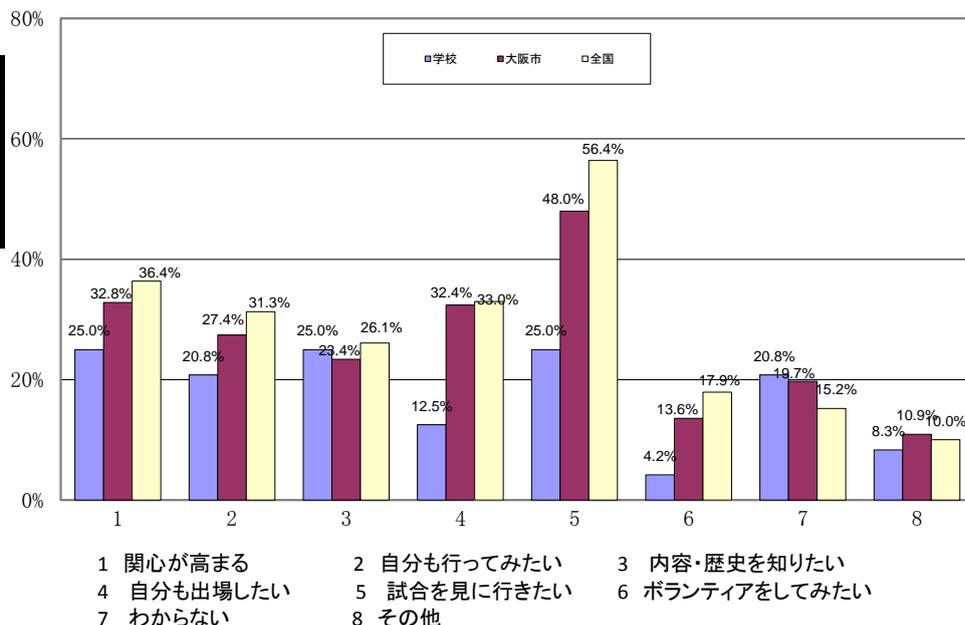
今後の取組

子どもたちは、体育の学習が好きで、楽しいと感じていることから、授業中に運動量を十分確保して、体力の向上を図っていきたい。また、教師による助言とともに、友だち同士の教え合いや励まし合いが大きな効果をもたらすことから、子どもたち相互の主體的、対話的な学び合いを大切にしていく。

その他

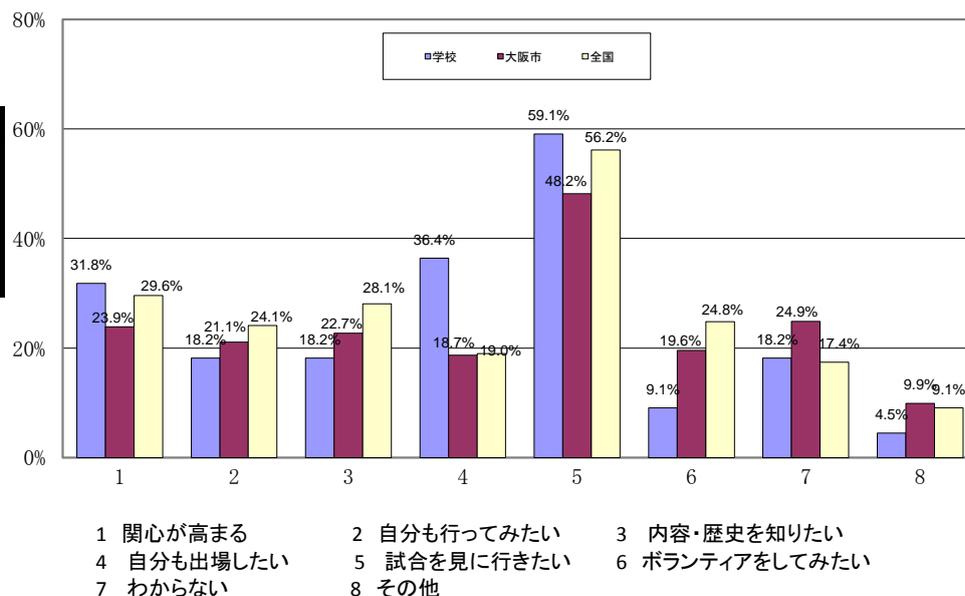
男子

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



女子

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



成果と課題

オリンピック・パラリンピックについては、男子は「内容・歴史を知りたい」「試合を見に行きたい」「関心が高まる」の回答が多く、女子は「試合を見に行きたい」「自分も出場したい」「関心が高まる」の回答が多かった。昨年度の5年生への同じ調査では、「わからない」の回答が男女とも突出していたのに対して、今回の結果から、東京でのオリンピック・パラリンピックへの関心、期待は確実に高まっているといえる。

今後の取組

男子は、女子に比べて「自分も出場したい」の割合が低いため、さまざまな競技種目を紹介したり、運動に親しませたりしていきたい。また、男女とも「ボランティアをしてみたい」の割合が大阪市および全国平均を大きく下回っているため、今後、東京でのオリンピック・パラリンピックへの参画意識を高めたい。